

いさやま大介 議員活動風景



▶ 阪神岩屋駅での街頭活動



▶ 平成27年12月 一般質問



▶ 平成27年12月 決算特別委員会（局別審査）



▶ 平成28年3月 予算特別委員会（総括質疑）

政務活動費領収書等のインターネット公開決定！

【再発防止策】

政務活動費の適正使用に関する検討会において、16項目（以下抜粋）の再発防止策が合意され、2月議会で条例化されました。

「領収書や調査委託のネット公開」「請求書、納品書の提出」
「広報印刷物の提出、作成枚数の報告、ネット公開」などで、

「政務活動費領収書のインターネット公開」は、特に
いさやま大介が選挙前から実現したいことのひとつでした。

この時期に、神戸市会議員の期末手当が増額？！

2月議会において、市会議員の期末手当を11万1,600円アップする
条例案が、44人の市会議員によって提出され議決されました。
この条例案に対して以下の理由により、いさやま大介は反対しました。

- ・神戸市の議員報酬は政令指定都市でもトップレベル、税金が減り市民サービスを見直す議論が出る中、増額する理由が見当たらない。
- ・市長をはじめ市幹部は、行財政改革の一環で期末手当や給与の減額を今年度も継続実施しているのに対し、市会議員報酬を増額する理由が見当たらない。
- ・「政務活動費不正流用問題」で失墜した市議会の信頼回復を目指す中で、元「自民党神戸」に所属した議員を含む市会議員自ら期末手当を上げる姿勢に対して理解に苦しむ。

予算特別委員会・代表質疑報告

○ふるさと納税について

「神戸市は、今後どのような事業を新たに対象とし、寄附金確保に向けどのような取り組みを進めていくのか。」という質問に対し、
「歴史的建築物の保全、文化・芸術・スポーツ振興、動物愛護の推進等の社会貢献事業などを拡充し、広報戦略の一元管理を行う」とのこと。

○学習支援事業・教育バウチャーについて

「子どもが家庭の経済状況にかかわらず等しく学ぶ機会を確保することを目的とする『学習支援事業』が、今年度より全ての区において通年型実施。この施策の充実とともに『教育バウチャー（習い事クーポン）』について、神戸市も実施する予定はないか」という質問に対し、
「学力定着を目指して、全小中学校に『学ぶ力・生きる力向上支援員』を配置。ひとり親を含む生活困窮者には医療費補助などの拡充で対応し、トータルで対策を実施。今すぐ教育バウチャーは考えていない。」とのこと。

○都市と音楽について

神戸国際フルートコンクールを核とした音楽祭や開港150周年、三宮再整備を契機に、あらゆる場所に芸術が散りばめられている『祝祭空間』を目指すことを提案。「実験的なストリートライブや、メリケンパークのステージ（改修予定）の活用などを検討する。」とのこと。